

長野県青年部ニュース

発行 茶道裏千家淡交会長野県青年部



特集

令和元・二年度を振り返って

礎を育てよう！

令和三・四年度長野県青年部

部長 小池智久



令和2年2月23日（日）
松本市勤労者福祉センター



茶道裏千家淡交会長野県青年部 令和二年度定期総会

令和三年も早くも三月を迎えようとしております。皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。本年から、長野県青年部は新役員体制で新しい期を迎えますが、令和元・二年度より部長を継続して務めさせていただきます。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

今年長野県青年部のテーマは、『礎を育てよう！』とさせていただきます。

昨年度は、全国的にもほとんどどの行事がコロナ禍によって中止になりました。しかし一方で、SNSやオンラインツールを使用した新たな取り組みや交流が生まれる年になりました。携帯電話やパソコンの画面を通してではありますが、好きな場所で茶席を体験できたり、さまざまな研修によって知識を得ることが可能になりました。つまりは、今まで以上に個人の自主性が求められる時を迎えているのではないのでしょうか。

今現在、徐々にコロナ感染者数は減少していますが、今までのような活動の再開のめどは立てられない状況です。今できること、今だからできることを考え、自身の経験や知識を探索することで、長野県青年部の礎となる会員一人一人の茶力を大きく育てていきたいと思います。青年部としても臨機応変にオンライン行事などを計画し、多くの会員の皆様に興味を持ってもらえるよう工夫していききたいと思います。

令和元・二年度を振り返って

副部長（各分会部長） 退任のご挨拶



北信分会
蔵之内 利絵

お茶って、一人ではできないものだなあ。と改めて思いました。前半はチャリティ茶会、諏訪の大会が、会員一人ひとりの力を結集して大成功に終えた時でしたが、後半は状況が一変し、少々さみしく味気ない日常になってしまったからです。

年齢、職業、社中など関係なく、お茶が好きというだけで仲間と集えた青年部は、年数が経つにつれ、自分の中では大きな部分を占めていたようです。家族にお茶を点てることもしますし、最近ではパソコンの画面で交流も可能となりましたが、仲間と隣に座りお菓子を食べ、一服するほっとした瞬間が今はとても懐かしいです。一日も早く、元の生活に戻れるように願ってやみません。

あまり充実した活動ができませんでしたが、支えてくださった先生方、会員の皆様、関わって下さった皆様、本当にありがとうございます。コロナ感染の緊張が解けない日々ですが、どうか皆様ののご無事をお祈り申し上げます。
(合掌)



東信分会
柳澤 邦子

長野県青年部会員の皆さま、そして、支部の先生方に支えて頂き、分会部長として二年間の任期を終える事が出来ました事、深く感謝申し上げます。

この二年間の目標は「それぞれの力を発揮出来る環境作り」「自分もよくて、みなよい」と互いに思える合意形成を目指し取り組みました。まず、環境として、子育て中の会員が役員会に参加できるような、日程を配慮し、経験豊富な幅広い意見を出し合い、自分もよくて、みなよいと思えるよう、互いを尊重し合い、毎回、新たな発見や気づきが生まれ充実した内容となりました。そうした事で、会員大会では分会の底力を強く感じる事ができ、仲間との絆が深まり始めました。その経験を活かす、昨年は、分会としての活動を強化する予定でしたが、コロナ禍となり全て中止となりましたが貴重な経験ができ、分会部長をさせて頂き良かったと思う事はかりです。今度も青年部活動を皆さまと一緒に楽しめる様、精進致します。



中信分会
中村 志乃

二年間を振り返りますと大きな行事としましては諏訪の地において北陸信越ブロック会員大会の開催でした。ブロック会員大会未経験者の多い中信分会の会員にとって各分会へのお手伝い、式典の進行など息つく暇もなく二日間が過ぎましたが、皆それぞれに充実した時間を過ごせたと思います。当日、参加ができたかった会員にも準備などでサポートしていただきました。

また、令和二年度はコロナ禍でほぼ全ての行事がやむなく中止になってしまいました。こんな時だからこそ、今は一日一日を大切に自分と向き合う時間を過ごしていただきたいと思えます。青年部の活動が再開した際には、茶道のできる日常をみんなで存分に楽しみたいと思います。



諏訪分会
寺澤 由紀

長野県でブロック大会が開催される年に分会部長ということで色々不安はありましたが、無事終えることができました。しかしコロナ禍で、その後予定していた行事を行えなかったことは残念に思っております。今後は、会員数の減少もあり諏訪分会独自の行事の開催が難しくなっていくと思われませんが、蓼科保養学園での茶道教室を始め、創意工夫を凝らし行っていただければと思います。2年間ありがとうございました。



南信分会
筒井 勇

2年間南信分会の部長として活動させていただきましたが、残念ながら後半の一年間はコロナ禍の為行事のほとんどが中止となり、南信分会も昨年予定していた飯田市人形劇フェスタ呈茶もフェスタ自体が中止になり行えませんでした。一昨年の長野県でのブロック会員大会が唯一の大きな行事でした。南信分会は点心席を担当しました。少人数の分会でまた私の経験不足もあり分会先生方や他分会の皆様の指導、ご助力をいただき、なんとか執り行うことが出来ました。青年部に在籍できるあと数年の内にこの経験を後に続く方々に伝えていきたいと思えます。2年間ありがとうございました。



中信分会
小澤 修平

二年間の研修を終えて一番プラスになったことは、研修チームの仲間と、お世話になりました。先輩の方々に出会えた事です。ともに学び、楽しみ、時には夜中まで語り合い、第二の学生生活を送っているようで、とても刺激的な二年間になりました。先輩方には、研修を進めるにあたり如何なる状況でも熱心に導いてくださった事にとっても感謝いたしました。人と人との絆、感謝の気持ち、今まで以上に大切にしていきたいです。

今後研修チームに参加される方もはじめは不安や戸惑いがあるかと思いますが、必ず人生においてプラスになる経験ができますので、是非ともチャレンジしてください。二年間研修に参加させていただき、皆様ありがとうございました。



中信分会
紺谷 沙貴

第9期研修チームに参加させて頂き、私の茶道に対する考え方が百八十度変わりました。研修会では抹茶を葉から自分で摘み、石臼で引いたり、菓子器のデザインをして蒔絵をしたりと今までの自分では想像もつかない素敵な体験が沢山できました。茶道にはまだこんな楽しみ方があったのかと、改めて茶道の奥深さを痛感致しました。

また、熱い思いを秘めた仲間とも出会い、語り合う事ができた事も私の一生の宝物です。後半は新型コロナウイルスの影響で今まで通りにはいきませんでした。役員の方のご尽力により最後まで研修ができた事に心より感謝しています。この文書を読んで少しでも研修チームに興味を持ち、私と同じように素晴らしい経験をしてください。方が増えましたら幸いです。

北陸信越ブロック第9期研修チーム

二年間の研修を終えて



北信分会
上原 朋美

研修チームに参加して、普段何気なく使っている抹茶・お茶碗・お菓子・着物について改めて学ぶ良い機会となりました。お茶の仲間が増えたことも研修チームに参加して良かったと思うことのひとつです。

最後の一年がオンライン研修となり、卒業茶会ができなかったことはとても残念でしたが、またいつか9期のみんなでお茶会ができれば良いと思います。

度々、青年部の先輩方が研修チームの話聞かせてくれて、どの先輩も研修チームは良いよ、楽しいよと言っていました。本当でした。参加して良かったです。



東信分会
篠原 まどか

緊張と不安ばかりを抱え、参加しました研修チーム。第一回目の研修会スピーチにて、研修チームの皆さんのお茶への熱い思いを聞き、大変刺激を受けました。

第9期研修チームは一年目は研修先現地にて、二年目からはコロナ禍によりオンラインにて研修が行われ、また卒業茶会は出来ませんでした。しかし、様々な新しい体験や素敵な仲間に出会えました。また、私の貴重な財産となりました。

また、いつか研修チームの仲間達と会い卒業茶会を行う事が出来るよう、これからも日々精進して行きたいと思えます。





北信分会
荒井良枝 (宗良)
日々是好日

「青年部に入りますか？」と問われ、同じ社中の人につられて「はい」と答えてしまったのが始まりでした。入ってから、どんなことをやっているのか知ることになったのですが、茶道をはじめても浅かったのでもついでにけず、圧倒され、とまどったのを覚えています。そんな私も気がつけば卒業です。着物を着られるようになりました。一緒にお茶を楽しむ仲間もできました。楽しい思い出ができました。いろいろと助けていただいた皆さんに感謝しています。ありがとうございます。これから青年部の益々のご発展と、皆さんのご活躍をお祈りしています。



東信分会
依田京子 (宗京)
廓然無聖

早いもので青年部の卒業を迎える年齢となつてしまいました。私が青年部に入るきっかけは、宗家訪問をしたいからという単純な理由でした。かつては茶道人口が多く、なかなか抽選で当たらないと宗家訪問はできなかったと聞いていました。願いが叶い、初めての宗家訪問の時はとても感動的でした。あわせて大徳寺の金毛閣、千家代々の墓所への参詣や、黄梅院で小林太玄老師様のご法話、京都でしかできない買い物など、お茶という共通の志を持った多くの方々との交流で刺激を受けながら、貴重な体験ができたことが思い出されます。

私は当時の東信青年部で活動していましたが、入会の頃は五十人近くの会員が在籍しており、年一回行っていた小諸懐古園での「手作り茶会」という、手作り点心、濃茶、薄茶の三席が設けられた茶会へ子供を連れて参加していたことが、とても懐かしく心に残っています。美術館巡りなども楽しかったのを覚えています。最近では会員が半分以下に減少し、人手不足により茶会の開催が困難になり淋しい限りです。またコロナ禍では、茶会そのものが開催できずにいます。大変ながらも茶会ができた頃が幸せだったとつくづく感じています。

昨年のブロック会員大会では、お互い活発な意見を出し合い、尊重しつつ、何とか成功できたのも、ご指導頂いた先生やご協力頂いた会員皆様のおかげであり、深く感謝申し上げます。

改めて思うことは、先人が言われる通り、「茶道は単なる点前習得ではなく、花・菓子・懐石・点心・お道具など、季節を愛しお日本人の感性を遊ばせる瞬間の芸術の場」だと思えます。これからも茶道時間を日常でとるよう心掛け、精進して参りたいと思います。結びに、青年部の益々のご盛会、並びに会員皆様のご活躍ご健勝を祈念申し上げます。

卒業生のご紹介・記念品短冊のことは



北信分会
保坂晶子 (宗晶)
歩歩是道場

青年部では5年余りでしたが、社中を越えたつながらが出来たこと、青年部主催の茶会では、お客様をどのようにお迎えするかを未熟ながらも自分たちなりに考え、作り上げる難しさも楽しさを学ぶことができました。最後の年はコロナ禍の影響で、ほとんどの行事が中止となり、不完全燃焼気味ではありますが、今までの経験、青年部活動を通して繋がった人の輪をこれからも大切にしていきたいと思えます。ありがとうございます。青年部のこれからの発展を祈念して御礼のことばとさせていただきます。



諏訪分会
寺澤由紀 (宗由)
且座喫茶

先生に声をかけられ、進められるがまま青年部に参加させていただきました。仕事との両立は大変な時もありましたが、普段のお稽古やお茶会とは違う貴重な体験や色々な仲間に出会うことができ、大切な財産となりました。皆さんも、この限られた時間を楽しんで過ごしてください。誠にありがとうございます。

青年部入会案内

1. 五十歳までの裏千家茶道愛好者であれば

茶道の許状・資格の有無を問いません。

(淡交会の正副支部長・支部顧問・終身正会員以上の教授者・

学校茶道指導者いずれかの推薦を得てください)。

2. 年会費は三千元です(二十五歳までは千円)。

茶道裏千家淡交会
長野県青年部

<https://www.naganoken-seinenbu.jp/>

Facebookページもあります